

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)浜松医科大学宿舎施設 新築	階数	地上5F
建設地	静岡県浜松市	構造	RC造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	80 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2020年3月4日
敷地面積	2,216 m ²	作成者	株式会社 飯田組一級建築士事務所
建築面積	609 m ²	確認日	2020年3月4日
延床面積	2,480 m ²	確認者	株式会社 飯田組一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 51%
③上記+②以外の 51%
④上記+ 51%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 ・これはCASBEE静岡(2016年版による評価結果です。		
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・住戸は複層ガラスを採用し、外皮の断熱性能等級4相当である。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・全戸合わせて1.5Gbitのインターネットサービスを提供する。	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・景観条例に準じている。
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・建物の一次エネルギー消費量はBEIm=0.76である。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・省水型便器を採用している。 ・GL工法、置床工法を採用している。 ・断熱材はノンフロン材を使用している。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・ライフサイクルCO ₂ 排出率は51%である。 ・駐輪場・駐車場の数・導入路・配置等、配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)浜松医科大学宿舎施設 新築工事 職員单身者用宿舎	BEE	1.2	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [※] /満点		取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.9	/5		ふつう		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.7	/5		がんばろう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5		がんばろう		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.9	/5		がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)				評価 凡例	よい 4 点以上	
				ふつう 3 点以上		
				がんばろう 3 点未満		

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目			
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。					
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点	3.9		
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①住戸は複層ガラスを採用し、外皮の断熱性能等級4相当である。	Q-1 2	2.1	2.1.2	① 外皮性能	
	Q-1 3	3.1	3.1.3	② 昼光利用設備	
		3.2	3.2.1	③ 昼光制御	
	Q-2 2	2.2	2.2.1	④ 躯体材料の耐用年数	
		2.2.2	2.2.2	④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔	
	2.2.3	2.2.3	④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
	2.2.4	2.2.4	④ 空調換気ダクトの更新必要間隔		
	2.2.5	2.2.5	④ 空調・給排水配管の更新必要間隔		
	2.2.6	2.2.6	④ 主要設備機器の更新必要間隔		
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし	Q-3 1			⑤ 生物環境の保全と創出	
	3	3.2		⑥ 敷地内温熱環境の向上	
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率運用) ⑦①住戸は複層ガラスを採用し、外皮の断熱性能等級4相当である。 ⑨LED照明を採用している。	LR-1 1			⑦ 建物外皮の熱負荷抑制	
	2			⑧ 自然エネルギー利用	
	3			⑨ 設備システムの高効率化	
	4	4.1		⑩ モニタリング	
		4.2		⑩ 運用管理体制	
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪省水型便器を採用している。 ⑫GL工法、置床工法を採用している。 ⑬断熱材はノンフロン材を使用している。	LR-2 1	1.1		⑪ 節水	
		1.2	1.2.1	⑪ 雨水利用システム導入の有無	
			1.2.2	⑪ 雑排水等利用システム導入の有無	
	2	2.1	2.1.1	⑫ 材料使用量の削減	
			2.1.2	⑫ 既存建築躯体等の継続使用	
			2.1.3	⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用	
			2.1.4	⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
			2.1.5	⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
			2.1.6	⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み	
	3	3.1		⑬ 有害物質を含まない材料の使用	
		3.2	3.2.1	⑬ 消火剤	
			3.2.2	⑬ 断熱材	
			3.2.3	⑬ 冷媒	
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし	LR-3 1			⑭ 地球温暖化への配慮	
	2	2.2		⑮ 温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点	2.7		
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし	Q-2 2	2.1	2.1.1	⑯ 耐震性	
				2.1.2	⑯ 免震・制振性能
		2.4	2.4.1	⑰ 空調・換気設備	
			2.4.2	⑰ 給排水・衛生設備	
			2.4.3	⑰ 電気設備	
			2.4.4	⑰ 機械・配管支持方法	
			2.4.5	⑰ 通信・情報設備	
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点	2.5	
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) 特になし	Q-2 1	1.1	1.1.3	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画	
		3	3.1	3.1.1	⑲ 階高のゆとり
			3.1.2	⑲ 空間の形状・自由さ	
■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし	Q-3 3	3.1		㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点	1.9		
■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上) 特になし	Q-3 1			⑳ 生物環境の保全と創出	
		2			㉒ まちなみ景観への配慮
		3	3.2		㉓ 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (㉔温熱環境悪化の改善) 特になし	LR-3 2	2.2		㉔ 温熱環境悪化の改善	